

科目名	計画論 Planning			担当教員	津門 正人 (窓口教員：徳永 秀和)		
学年	5年	学期	後期	履修条件	選択	単位数	2
分野	専門	授業形式	講義	科目番号	17133051	単位区分	学修単位
学習目標	企業や社会における ICT を活用したシステム開発に必要な知識とプロジェクトマネジメント手法を習得し、将来の企業実務において実践できるようにする。						
進め方	テーマ毎に基本的な考え方を解説し、具体的な事例を示し理解を深める。 自学自習時間に相当する課題を出題し、授業では、それをもとにグループ討議、討議結果の発表を行う。						
学習内容	学習項目 (時間数)			学習到達目標			
	0. 全体ガイダンス(1) 1. 企業、社会におけるシステム化(5) (1) システムとは (2) 企業、社会における ICT 活用 (3) システム開発に必要な技術と能力 2. システム化手法(6) (1) ウォータフォール型 (2) プロトタイプ型 (3) アジャイル型 他 3. システム開発の例(2) (1) 要件定義 (2) 外部設計 ----- [後期中間試験](2)			企業というシステムの目標を知る。 企業や社会における ICT 活用方法について説明できる。 システム開発に必要な技術と能力、その評価方法を説明できる。 システム化手法の概要、各手法の特徴を説明できる。 ウォータフォール型での各局面の関係、各局面で何を行うか、要員・関係者の役割、主な作成物を説明できる。 機能要件、非機能要件例を説明できる。 (D-1)			
	3の続き(3) (3) 内部設計 (4) プログラム開発 (5) 統合テスト、システムテスト 4. レポート(1) (1) 計画策定 5. プロジェクトマネジメント概要(8) (1) プロジェクトとは (2) PDCA サイクル (3) プロセス (4) 管理手法 6. ICT 活用事例、プロジェクト事例(2)			自身の目標を達成するための計画等を策定する。 プロジェクトマネジメントにおける管理項目、管理手法を説明できる。 各事例の目標、成果を説明できる。 (D-1)			
	後期末試験						
	試験返却(1)						
評価方法	定期試験 50%, 小テーマ発表 10%, レポート 28%、発表 12%の計 100%で評価する。 自主学習については、レポートで確認する。						
履修要件	特になし						
関連科目	情報処理 I (3年) → 情報処理 II (4年) → 情報ネットワーク (5年) → 計画論 (5年)						
教材	プリント：テーマ毎に関係するキーワードをまとめたプリントを配布する。 教材：システム事例、プロジェクト事例を紹介する。(投影する) 参考書籍・資料：テーマに応じて適宜提示する。						
備考	注意事項：冬季休暇中のレポートが未提出の場合、単位取得ができないことがある。 授業時間以外に1週に4時間の自学自習が必要である。						